農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	喜茂別町		事業開始年度	目標年度	事業実施期間(令和2年度)
2. 取組振興山村名	喜茂別町		令和元年度	令和3年度	令和2年4月8日~令和3年3月31日
3. 事業費(うち国費)	9, 843, 610円(9, 843, 610円)				
4. 第三者氏名	北海道信用金庫喜茂別支店 支店長 山田 尚弘				
5. 事業評価					
総合評価					
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)			(評価理由及び助言等のコメント) 令和2年度の取組みは概ね評価でき、町内特産品の販売を行う実働組織の立ち上げも評価できる。 事業終了を対象した。 事業終了は対象を表現である。		
評 価 (該当に○)	(A) (B)	(C)重点指導対象	一に向けて引き続き検討を期待する。 ①から③の実施結果を踏まえて、A評価とする。		
① 取組状況					
○ 目標の達成に資するのための取組が行われたか。			(評価理由及び助言等のコメント) 新商品であるじゃがちょこっとについては、第29回グルメ&ダイニングスタイルショー春 2021での新商品コンテストにおいて、バイヤー等から一定程度の評価があったことから、市場のニーズにあった商品開発として評価		
評 価 (該当に〇)	(A) (B)	(C)重点指導対象	できる。引き続き、少ないマンパワーをどのように活用していくかを明確にし、コロナ禍での販売方法や販売 ルートを確立し、販売実績を上げることが地域所得の増加につながると考える。また、新たな組織として立ち上 げた組織体は、民間主導の組織体であることから、より機動的な活動が期待される。		
② 事業実績					
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。			(評価理由及び助言等のコメント) 令和2年度の目標であった町内経済団体が一体となった推進体制の確立により、民間主導の新たな組織体の設立され、新規雇用数が増加した他、地域資源(じゃがいも等)を活用した新たな商品(じゃがちょこっと) ***********************************		
評 価 (該当に〇)	(A) (B)	(C)重点指導対象	一発が、商品開発数の指標に寄与した。一方で、コロナ禍における対面販売の低迷により、販売額指標が目標に達しなかった。		
③ 実施体制					
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。 ・			(評価理由及び助言等のコメント) 事業当初から町内の経済団体が構成メンバーに加わったことや町外のコンサルタントのサポートを受けるな ど、既存商品のブラッシュアップや新商品開発に と、既存商品のブラッシュアップや新商品開発に と、		
評 価 (該当に〇)	(A) (B)	(C)	取組む事業者が現れるなど、地域内で「商品開発に取組みたい」という機運が高まっていることは歓迎すべき ことである。引き続き、特産品を活用した外部からの収入を得る手段に対する知見を取り入れて、事業完了後 を見据えた事業展開を期待する。		
④ その他					